

PHOTO-Series

Computer Aided Engineering Systems

リリースノート

Ver9.0

WINDOW 7/ 8/10

株式会社 フォトン

PHOTO-Series Ver9.0 リリースノート

本書には、「PHOTO-Series Ver9.0」のリリースに関する情報が記載されています。

「PHOTO-Series Ver9.0」対応製品は、以下の通りです。

GRADE、WAVEj ω 、MOTION、EDDY、EDDYj ω 、MAG、MAGTZ、VOLT、VOLTj ω 、VOLTST、
THERMO、ELAS、ELASj ω

内容

PHOTO-Series Ver9.0 リリース情報

1. 更新情報

今回のバージョンアップの概要

2. 機能強化について

株式会社フォトン

〒639-0237

京都府相楽郡精華町光台7丁目27
番1

TEL:0774-98-0696 FAX:0774-98-
0697

URL:[http://www.photon-
cae.co.jp/](http://www.photon-cae.co.jp/)

E-mail:info@photon-cae.co.jp

サポート専用:[support@photon-
cae.co.jp](mailto:support@photon-
cae.co.jp)

1. 更新情報

今回 Ver9.0 へのバージョンアップにおける追加又は仕様変更となった機能とその概要を以下に記述します。

- ・機能強化
 - (1) PHOTO-GRADE の完全リニューアル
 - (2) ベクトルヒステリシスの充実
 - (3) 超電導対応

- ・累積バグの修正

2. 機能強化について

(1) GARDE の完全リニューアル

機能改善に伴い、操作方法を変更いたしました。

主な変更点は、次の通りです。

【基本操作】

(9.0) 8.3 標準でダブルクリック指定していた箇所は、基本シングルクリックになります。

【画面操作】

<拡大/縮小>

(8.3) マウスホイール上で拡大、下で縮小

(9.0) **Shift**+マウスホイール上で拡大、下で縮小

<パンニング>

(8.3) **Ctrl**+マウス左クリック

(9.0) **Ctrl**+マウス左クリック (8.3 と変わらず)

<回転>

(8.3) マウス左クリック

(9.0) **Shift**+マウス左クリック

・各コマンドにおける範囲指定方法

(8.3) **Shift**+マウス左ドラッグ操作

(9.0) マウス左ドラッグ操作

・範囲指定時、マウスドラッグ範囲を長方形から円に変更する方法

(8.3) **Ctrl**+マウス左クリック

(9.0) **[ファイル]**-**[設定]**-**[マウスによる選択]**を、長方形 (初期値) →円形に変更

※次回変更まで継続

【物性ごとの表示 変更点】

現在、選択されている物性の色をダイアログ上部に表示 追加



全物性の色同時表示 廃止

ダブルクリックによる<表示><非表示>間の移動 廃止

物性値の変更ダイアログへのリンク 廃止

非表示中の物性への色設定 廃止

【out.chk ファイルの出力先 変更】

(8.3) 実行ファイル (.grd) と同じフォルダ

(9.0) Grade.exe と同じフォルダ (そのまま次の実行を行うと 2 つめの内容が 1 つめに続いて書き出されます)

【要素選択時の表示】

(8.3) 選択された要素の中心に、“ピンク” 点表示

(9.0) 選択された要素そのものを“シアン”表示

【マップドメッシュ作成時の機能追加】

- 作成時メッシュパターンを何パターンか自動作成 (1 パターンの時もあります)
パターン選択後、<決定>ボタンクリックで、メッシュ確定。決定ボタンを押さずに終了してしまうと、メッシュは残りませんので注意願います。

【表皮層要素の作成方法 変更】

(8.3) 表皮層要素を別要素として作成（元の要素と同じでも作成可能）

(9.0) 表皮層要素を元の要素と同じ要素として作成

【複数 GRD ファイルの読み込み方法の変更】

(8.3)

[ファイル]－[開く]→再度[ファイル]－[開く]時に、追加読み込みか新規読み込みか選択

(9.0)

[ファイル]－[開く]→再度[ファイル]－[開く]で最新画面が一旦表示されるので、[解析]－[データの連結]－データの連結ダイアログで該当ファイルを追加指定します。

【法線のチェック（2D/軸対称） 変更】

(8.3) 反転要素があった場合、該当部分を範囲指定して反転

(9.0) 範囲指定した部分の法線をチェックし、反転要素があった場合、自動反転

【その他変更点/注意点】

- ・モデル作成時、座標指定以外ではグリッドが必要になります。
- ・記録再生機能（UNDO/REDO）は 2018.4 月現在未対応です。適宜バックアップをお取りください。
- ・モデル作成後、必ずリナンバーが必要です。（境界条件/荷重条件設定の前に必ず行ってください。）
- ・8.3 モデルを読み込むと背景は初期値“白”になります。
（[ファイル]－[設定]でカラーにして保存すれば次からはカラー表示になります）

(2) ベクトルヒステリシスの充実

ヒステリシス機能が拡充されました。

詳細は、MAG/EDDY/MOTION ユーザーズマニュアル 3-5 「ヒステリシス特性」を参照願います。

(3) 超電導対応

超伝導のみに関わらず、インタープリタやユーザーサブルーチンを使用して様々な、電流入力に対応することが可能です。

詳細は、MAG/EDDY/MOTION ユーザーズマニュアル 3-6 「プログラム」を参照願います。

Copyright (C) 2018 "PHOTON Co. Ltd." All Rights Reserved.